

樂美術館事業計画要旨

平成25年度

期間 2013年4月1日（月）～ 2014年3月31日（月）

事業計画要旨

平成25年度事業計画概要

I 作品・資料の公開活用、保存・修復、作品資料の収集事業

1) 作品資料公開活用事業

1) 当館開催展

春期 特別展『定本 樂歴代』出版記念「樂歴代名品展 樂家歴代が手本として学んだ伝来の茶碗」
夏期 親子で見る展覧会 シリーズ「樂ってなんだろう展 手のひらから生まれた形・樂茶碗」
秋期 特別展 長谷川等伯「松林架橋図屏風」修復完成 利休・少庵・元伯・三千家の時代
新春 新春展 新春に因んだ「新春 干支動物の歴代展」

2) 手に触れる美術館事業

特別鑑賞茶会

手にふれる樂茶碗鑑賞会

親子でお茶一服

2013年5月5日（こどもの日） 2014年3月2日（日）

親子で見る展覧会 解説とワークショップ

2013年8月11日（日）

特別記念茶会

2014年2月2日（日）3日（月）

3) 館外協力事業 他の美術館との協力事業を推進する

2) 保存修復事業

1) 館蔵作品の保管修理を行う。

3) 作品資料収集

1) 作品購入を行い、収蔵作品・資料の充実を計る。 予定作品は現在は未定。

II 樂焼、その他日本陶芸、茶道工芸美術の調査研究・資料図書刊行・閲覧事業

- 1) インターネット上での樂焼の解説、歴史概説の掲載閲覧を充実させる。
- 2) 電子機器（Ipad）等を利用し館蔵品のアーカイブへ向けて準備を行う。
- 3) 低火度鉛釉の調査研究を昨年度に引き続き行う。
- 4) 絵はがき大寸法写真に加えて、新たに作品・資料の大判型写真を提供する。

III 学校・社会教育への協力をを行い、文化・教育振興・普及事業

- 1) 夏期展 親子で見る展覧会として、「シリーズ 樂ってなんだろう展」を開催する。
- 2) 児童対象の体験学習に協力、「ワークショップ」「親子でお茶一服」等を開催する。
- 3) 大学の教育事業に協力する。
- 4) 生涯学習事業に積極的に協力する。
- 5) 地域文化の向上に努める。

IV その他、この法人の目的を達成する為に必要な事業

- 1) 広報活動を充実させる。
- 2) 地震、洪水など災害時にそなえて収蔵庫の災害対策を強化する。
- 3) 災害時における非常用排水ポンプを設置、浸水などの災害に備える。
- 4) 展示室ケース内の新たな照明スポット等のシステムを改善する。

館展示事業

展示事業1 『定本 樂歴代』出版記念 樂歴代名品展 2013年3月9日(土)～7月7日(日)

サブタイトル 樂家歴代が手本として学んだ伝来の茶碗

当館の収蔵作品は単にコレクター個人の趣味による収集品ではなく、400余年にわたって代々樂家に伝えられた歴代作品です。樂焼400年のエッセンスが凝縮しています。どのような作品から、どのように学び、新たな作風へと結びつけてきたのか、本展では今回淡交社より出版された図版本『定本 樂歴代』（樂美術館制作監修）に基づき、樂歴代に環流する造形精神を浮かび上がらせませす。

展示事業2 親子で見る展覧会 シリーズ 樂ってなんだろう 2013年7月13日(土)～9月1日(日)

サブタイトル 手のひらから生まれた形・樂茶碗

樂茶碗は轆轤を使わず手捏ねで制作、それを篋で丹念に削って完成させます。樂茶碗の独特の包み込むような柔らかく端正な姿は、優しい手のひらの形から生まれました。そのような観点から樂茶碗の世界を轆轤制作の代表的な高麗茶碗等とも比較検証し、その違いや特色を感じてみましょう。

展示事業3 秋期特別展 利休・少庵・元伯・三千家の時代 2013年9月6日(金)～12月23日(月・祝)

サブタイトル 長谷川等伯「松林架橋図屏風」修復完成記念

等伯「松林架橋図屏風」（大徳寺三玄院旧蔵）の修復が完成、それを記念して、等伯とも交友のあった利休、樂家田中宗慶、長次郎、さらに少庵、元伯の時代の茶道美術を一望します。雲谷等益筆「梅竹山鳥の図」屏風3面（大徳寺碧玉軒旧蔵）もあわせて特別展示します。

展示事業4 新春展 樂歴代 干支・動物たちの新春 2014年1月5日(日)～3月2日(日)

サブタイトル 日常の風物、いろいろな物語、干支、吉祥の動物たち

茶の湯では、何気ない日常の風物として、また様々な物語に登場する動物、干支や吉祥の動物などを主題とした作品が生まれています。本展では樂歴代が動物を主題に制作した茶碗、香合、香炉などを楽しく展示します。

手に触れる美術館事業

当館では、展示ケースごしの展観ではなく、作品、資料を実際に手に触れて鑑賞する「手にふれる美術館構想」を促進してきた。今年度は以下の4事業を行う。

- | | | |
|---------------------|------------------------------|-----|
| 1. 特別鑑賞茶会 | 5月 6月 7月 9月 10月 12月 2月 3月に開催 | 年8回 |
| 2. 手にふれる樂茶碗鑑賞会 | 毎月一回土曜日または日曜日に行う。 | |
| 3. 親子でお茶一服 | 5月5日(こどもの日)、2014年3月2日(日) | 年2回 |
| 4. 親子で見る展覧会 ワークショップ | 8月11日(日) 午前・午後2回開催 | 年1回 |
| 5. 特別記念茶会 | 2014年2月2日(日) 3日(月) | |

他の美術館との協力事業

1. 他美術館と協力し、共同展覧会、共同研究を積極的に行い、共同体制をつくり上げる。
2. 公益財団法人・佐川美術館の展示、美術館活動に協力する。
3. 今出川通・日本画茶の湯美術館連絡会（堂本印象美術館、茶道資料館、北村美術館、橋本関雪記念館、当館）と密接に協力活動を行う。
4. 海外美術館との協力関係を深める。

その他の美術館との共催・協力事業計画

1. 吉左衛門X

会場 佐川美術館

織染・上原美智子 茶入・樂吉左衛門 仕覆・土田半四朗

期間 2013年9月21日（土）～2014年3月30日（日）

事業主体 主催 佐川美術館 協賛・協力 樂美術館

内容 第4回吉左衛門Xとして沖縄在住染め織り作家・上原美智子氏の織りとのコラボレーション。さらに仕覆制作として千家十職の袋物師土田半四郎氏が協力する。

その他の公開活用事業

2013年度春期展「一楽・二萩・三唐津」展

福井県陶芸館

2013年4月13日（土）～6月30日（日）

福井県陶芸館は、中村昌生氏設計の茶室「越知庵」を有している。今年は茶苑開館40周年にあたる。それを記念して、茶の湯を多くの福井県民に親しんでもらうために、茶陶の最高峰として知られる楽・萩・唐津の魅力を紹介する展覧会。当館からは、12点を貸し出しする。